

【全国の自治体初】

年間600時間の「浜松版生活日本語教育プログラム」試行開始について

浜松市では**全国の自治体初**となる「生活」に関する年間600時間の「浜松版生活日本語教育プログラム」を編成し、この度、試行開始する運びとなりました。

本プログラムは、文部科学省「地域日本語教育の総合的な体制づくり推進事業」の採択を受け、「日本語教育の参照枠^{※1}」に基づく「生活 Can do^{※2}」を参照した質の高い体系的な日本語教育を編成・提供していくものです。

これまでレベル毎に分かれていた日本語教室クラスを一新し、自立した言語使用者として必要な B1 レベルまでの習得を目指して年間を通した「浜松版生活日本語コース」として編成しました。

報道機関向けに開講式の様子を公開いたします。是非ご参加ください。

記

1 開催概要

日時 4月15日(月) 9時30分～13時20分

会場 浜松市外国人学習支援センター (浜松市中央区雄踏町宇布見 9611-1)

- 内容
- ・主催者挨拶
 - ・文部科学省挨拶
 - ・学習者証・教科書授与
 - ・オリエンテーション (教師紹介、多言語相談員紹介、施設案内、学習準備)

学習者 20名

その他 学習者の様々なライフステージ・ニーズに応じた日本語学習機会を確保するため、年間を通した「浜松版生活日本語コース」以外の日本語教室クラスも補完的に設けました。詳しくは別添チラシをご参照ください。

2 問い合わせ先

浜松市外国人学習支援センター

浜松市地域日本語教育総括コーディネーター 内山夕輝

電話: 053-592-1117 Fax: 053-592-1179

※1 外国人等が適切な日本語教育を継続的に受けられるようにするため、日本語教育に関わる全ての者が参照できる日本語学習、教授、評価のための枠組み。日本語能力の熟達度を5つの言語活動毎にA1～C2までの6つのレベルを示す。

※2 地域における日本語教育で参照することができるよう、日本語学習者が生活分野で日本語を使い、どんなことができるか目標を具体的に例示したもの。約800の「生活 Can do」が示されている。